



平成 23 年 5 月 2 日

各 位

会 社 名：株式会社ベネッセホールディングス  
(コード：9783 東証・大証第1部)  
代表者名：代表取締役社長 福島 保  
問合せ先：代表取締役副社長兼CFO 福原 賢一  
(TEL 042-356-0808)  
(URL <http://www.benesse-hd.co.jp/>)

## 特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 3 月期決算において、当社の連結子会社である㈱ベネッセコーポレーションで減損損失を特別損失へ計上するとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 2 月 4 日に公表した平成 23 年 3 月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正

平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	415,300	41,000	41,300	22,600	229.13
今回発表予想(B)	412,800	42,800	44,700	20,600	208.61
増減額(B-A)	△ 2,500	1,800	3,400	△ 2,000	-
増減率(%)	△ 0.6	4.4	8.2	△ 8.8	-
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	406,602	37,889	39,165	21,874	221.65

#### 2. 特別損失の計上及び業績予想の修正の理由

当社は、連結子会社㈱ベネッセコーポレーションの基幹事業である通信教育事業等の販売管理システムの、一層のサービス力強化に向けた全面的なリニューアルを、平成 24 年度中の稼働を目指して進めて参りました。しかしながら、東日本大震災の発生を受け、当システム開発を一時的に中断せざるを得なかったことに加え、当面の間、震災対応で開発要員の確保が困難となることから、開発スケジュールの遅延が不可避の状況となりました。

これに伴い追加で発生するコスト、要員並びに当システム開発の現状を考慮し、事業への悪影響の回避を検討した結果、当初計画を見直し、既存システムも活用して段階的な開発を行う方式に切り替えることいたしました。この切り替えにより、開発スケジュールの遅延及び開発費総額の抑制を図ります。このため、今後の使用が見込まれない構築途上のプログラム部分等の減損処理を行うことに伴い、減損損失 5,688 百万円を特別損失に計上すること等により、当期純利益が前回予想を下回る見通しとなっております。

なお、震災影響を含む平成 23 年 3 月期通期連結及び個別業績につきましては、平成 23 年 5 月 20 日に予定している決算発表にて公表予定です。

以 上

(注) 業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。